

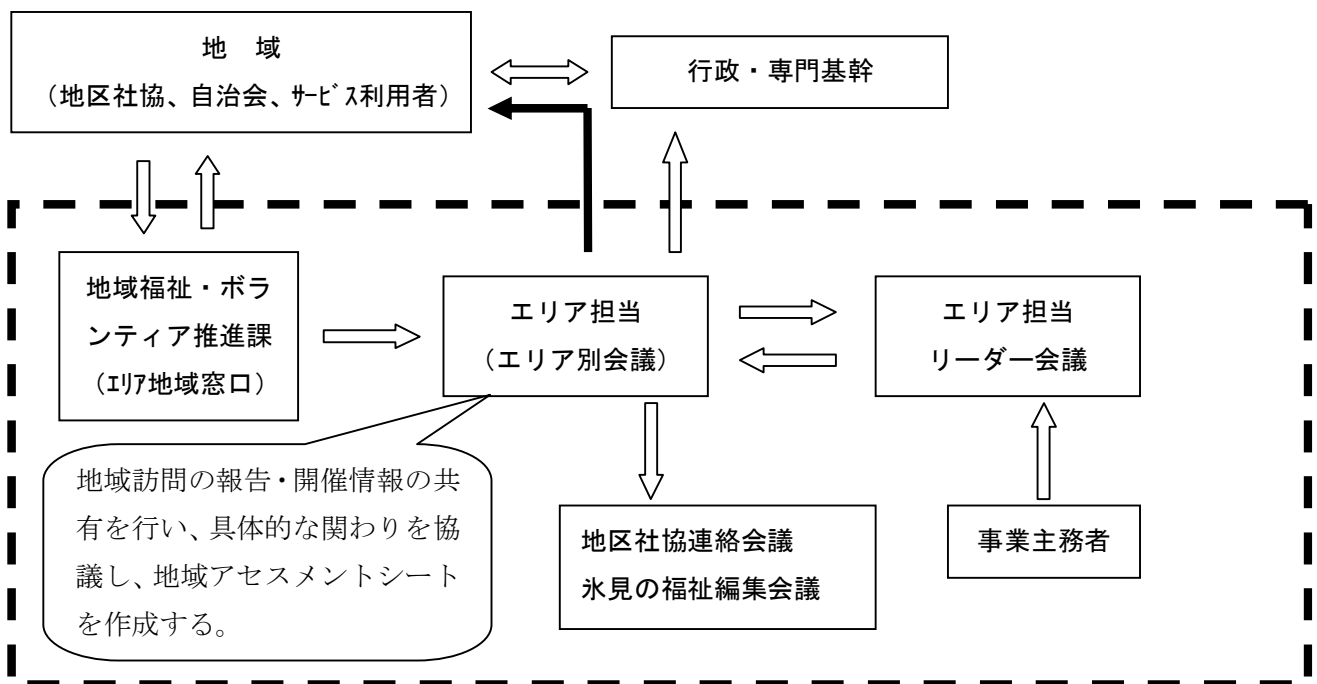
## 氷見市社協事務局職員エリア担当の構成

各専門部署から配置人員規模に応じて、各エリア担当を配置する。地域との直接的な窓口は本来業務である地域福祉・ボランティア推進課が担当し、エリアリーダーは、エリアスタッフ間の調整を行う。全体総括については、全エリアのスーパーバイザーの役割を担う。各エリア7名（兼務あり）体制となっている。

全体総括：次長						
	高齢支援課	障害支援課	こども支援課	ふくし相談サポートセンター	総務企画課	地域福祉ボランティア推進
氷見	1		1	1	(CSW) 2	2
南條	1		1	1		1
上庄谷		1	1	1		1
灘浦	2		1	1		1

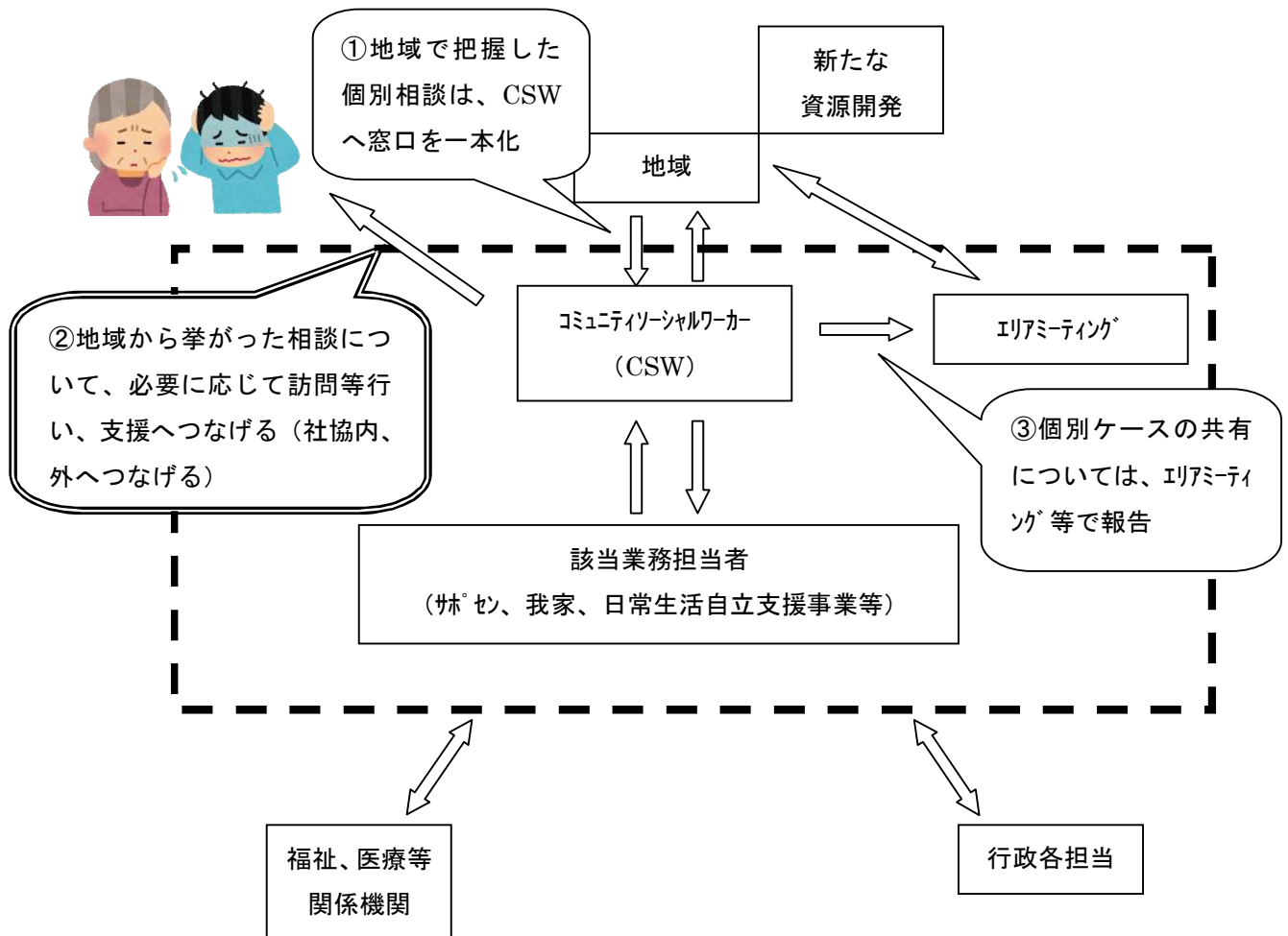
☆エリアリーダーは、キャリア等を勘案し決定。

## エリアチームの動き（イメージ）



## 個別相談対応の流れ（イメージ）

地域から相談のあがる個別ケースへの対応については、CSW（コミュニティソーシャルワーカー）とも連携し対応します。



## エリア担当の具体的な役割

地区社協を基礎とし、各エリア毎に地域への関わり方を検討し、個人及び地域支援を行う。

### ①地域実態把握

地域福祉活動の場に出向き、地域資源の把握・地域特性の把握など（各自訪問報告書を作成）を行い、地域アセスメントシートを作成する。（2カ月に1回程度更新）

### ②地域個別課題把握

地域の個別課題について把握する。把握した個別課題とともに、住民福祉講座やボランティアグループ・地域福祉活動へとつなげていく。また、行政・関係専門機関との連携を図る。

具体的な関連事業

- ・ケアネット活動（関連会議）
- ・いのちのバトン（関係会議）
- ・地区社協定例会
- ・民生委員定例会
- ・地域情報交換会
- ・地域座談会

◎各種サービス利用者の地域別のデータ管理、聞き取り等のニーズ把握等